

## VI 教育研究等環境

(表17) 専任教員の研究費 (実績)

学部・研究科等	総額 (A)	総額 (B) (除、講座・研究室等の 共同研究費)	専任教員数 (C)	教員1人 当たりの額 ① (A/C)	教員1人 当たりの額 ② (B/C)	備考
医療保健学部	74,120,201	23,372,744	79	938,230	295,858	
東が丘・立川看護学部	31,974,712	10,631,658	32	999,210	332,239	
計	106,094,913	34,004,402	111	955,810	306,346	

- [注] 1 2013年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2013年度の人数（助手を除く）を記入してください。
- 2 研究費総額 (A) には、学科、研究室等ごとに支給される研究費も含めて記入してください。ただし、間接経費（水道光熱費、人件費等）は除いてください。また、競争的な研究費も含めないでください。
- 3 研究費総額 (B) には、講座研究費、個人研究費等の名称は問わず、教員個人が専らその研究の用に充てるために支給される経常的経費（図書購入費、機器備品費、研究用消耗品費、アルバイトなどへの謝金等）を記入してください。

(表18) 専任教員の研究旅費

学部・研究科等		国外留学		国内留学		学会等出張旅費		備 考
		長期	短期	長期	短期	国外	国内	
医療保健学部	総 額	0	0	0	0	1,712,072	9,095,042	個人研究費からの実費支給
	支 給 件 数	0	0	0	0	11	175	
東が丘・立川看護学部	総 額	0	0	0	0	968,474	2,332,681	個人研究費からの実費支給
	支 給 件 数	0	0	0	0	6	53	
計	総 額	0	0	0	0	2,680,546	11,427,723	
	支 給 件 数	0	0	0	0	17	228	

[注] 1 2013年度の実績をもとに作表してください。

2 教員研究旅費には、前表「17 専任教員の研究費（実績）」は含めないでください。

3 それぞれの研究旅費の支給条件（例えば、受給資格、支給額の上限等）を備考欄に注記してください。

4 留学の「長期」とは、1年以上のものをいい、1年未満を「短期」とします。

(表19) 教員研究費内訳

学部・研究科等	研究費の内訳	2009年度		2010年度		2011年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
医療保健学部	研究費総額	147,430,486	100%	135,089,508	100%	136,821,124	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	103,172,586	70.0%	95,151,258	70.4%	84,079,124	61.5%
		学内共同研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%
	学外	科学研究費補助金	29,757,635	20.2%	23,220,000	17.2%	25,040,000	18.3%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	2,400,000	1.6%	1,197,000	0.9%	4,215,000	3.0%
		奨学寄附金	9,936,265	6.7%	12,500,000	9.3%	21,330,000	15.6%
		受託研究費	2,164,000	1.5%	3,021,250	2.2%	2,157,000	1.6%
		共同研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%

学部・研究科等	研究費の内訳	2012年度		2013年度		
		研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（％）	
医療保健学部	研究費総額	124,350,391	100.0%	153,438,291	100.0%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	88,345,391	71.0%	86,754,791	56.5%
		学内共同研究費	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%
	学外	科学研究費補助金	16,510,000	13.3%	23,266,000	15.2%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0%	0	0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	3,960,000	3.2%	1,160,000	0.8%
		奨学寄附金	15,155,000	12.2%	35,650,000	23.2%
		受託研究費	380,000	0.3%	6,607,500	4.3%
		共同研究費	0	0%	0	0%
	その他	0	0%	0	0%	

学部・研究科等	研究費の内訳	2010年度		2011年度		2012年度		
		研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	
東が丘・立川 看護学部	研究費総額	31,216,708	100%	42,961,157	100%	44,210,809	100%	
	学 内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	26,766,708	85.7%	35,551,157	82.8%	32,380,809	73%
		学内共同研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%
	学 外	科学研究費補助金	4,450,000	14.3%	7,410,000	17.2%	11,830,000	27%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		奨学寄附金	0	0%	0	0%	0	0%
		受託研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		共同研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%

学部・研究科等	研究費の内訳	2013年度		
		研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	
東が丘・立川 看護学部	研究費総額	43,598,984	100%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	35,868,984	82.3%
		学内共同研究費	0	0%
		その他	0	0%
	学外	科学研究費補助金	6,680,000	15.3%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	0	0%
		奨学寄附金	0	0%
		受託研究費	1,050,000	2.4%
		共同研究費	0	0%
		その他	0	0%

学部・研究科等	研究費の内訳	2010年度		2011年度		2012年度		
		研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	研究費 (円)	研究費総額に対する割合 (%)	
学部合計  (医療保健学部 東が丘・立川 看護学部)	研究費総額	166,306,216	100%	179,782,281	100%	168,561,200	100%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	121,917,966	73.3%	119,630,281	66.5%	120,726,200	71.6%
		学内共同研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%
	学外	科学研究費補助金	27,670,000	16.7%	32,450,000	18.0%	28,340,000	16.9%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0%	0	0%	0	0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	1,197,000	0.7%	4,215,000	2.3%	3,960,000	2.3%
		奨学寄附金	12,500,000	7.5%	21,330,000	12%	15,155,000	9.0%
		受託研究費	3,021,250	1.8%	2,157,000	1.2%	380,000	0.2%
		共同研究費	0	0%	0	0%	0	0%
		その他	0	0%	0	0%	0	0%

学部・研究科等	研究費の内訳	2013年度		
		研究費（円）	研究費総額に対する割合（%）	
学部合計 （医療保健学部 東が丘・立川 看護学部）	研究費総額	197,037,275	100%	
	学内	経常研究費 (教員当り積算校費総額)	122,623,775	62.2%
		学内共同研究費	0	0%
		その他	0	0%
	学外	科学研究費補助金	29,946,000	15.2%
		政府もしくは政府関連 法人からの研究助成金	0	0%
		民間の研究助成財団 等からの研究助成金	1,160,000	0.6%
		奨学寄附金	35,650,000	18.1%
		受託研究費	7,657,500	3.9%
		共同研究費	0	0%
		その他	0	0%



(表20) 科学研究費の採択状況

学部・研究科等	科 学 研 究 費								
	2009年度			2010年度			2011年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
医療保健学部	11	3	27.3	7	3	42.9	10	2	20.0
東が丘・立川看護学部	—	—	—	0	0	0.0	7	4	57.1
計	11	3	27.3	7	3	42.9	17	6	35.3

学部・研究科等	科 学 研 究 費					
	2012年度			2013年度		
	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100	申請件数(A)	採択件数(B)	採択率(%) B/A*100
医療保健学部	20	5	25.0	17	6	35.3
東が丘・立川看護学部	6	2	33.3	5	1	20.0
計	26	7	26.9	22	7	31.8

- [注] 1 教員、助手が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。  
 2 採択件数には、当該年度新規に採択された件数のみをあげ、前年度からの継続分は含めないでください。

(表21) 学外からの研究費の総額と一人当たりの額 (2013年度)

学部・研究科等	専任 教員数	科学研究費補助金		その他の学外研究費		合 計 (A+B)
		科学研究費補 助金総額 (A)	うちオーバーヘッドの額	その他の学外研究費総額 (B)	うちオーバーヘッドの額	
医療保健学部	78	23,266,000	6,979,000	43,417,500	4,271,750	66,683,500
東が丘・立川看護学部	30	6,680,000	2,004,000	1,050,000	105,000	7,730,000
合 計	108	29,946,000	8,983,000	44,467,500	4,376,750	74,413,500

- [注] 1 教員が専任として配置されている学部、研究科等ごとに記入してください。  
 2 2013年度の実績をもとに作表してください。したがって「専任教員数」欄にも、2013年度の人数を記入してください。  
 3 「その他の学外研究費」には、科研費以外の政府もしくは政府関連法人からの研究助成金、民間の研究助成財団等からの研究助成金、奨学寄付金、受託研究費、共同研究費などが該当します。

(表22) 校地、校舎、講義室・演習室等の面積

校 地 ・ 校 舎				講義室・演習室等	
校地面積 (m <sup>2</sup> )	設置基準上必要 校地面積 (m <sup>2</sup> )	校舎面積(m <sup>2</sup> )	設置基準上必要 校舎面積 (m <sup>2</sup> )	講義室・演習室・ 学生自習室総数	講義室・演習室・ 学生自習室 総面積 (m <sup>2</sup> )
【五反田キャンパス】 12,747m <sup>2</sup> (市川運動場含む)	4,000m <sup>2</sup>	7,004m <sup>2</sup>	3,714m <sup>2</sup>	15	1,027.00m <sup>2</sup>
【世田谷キャンパス】 5,998m <sup>2</sup> (桜グラウンド含む)	7,200m <sup>2</sup>	6,799m <sup>2</sup>	6,686m <sup>2</sup>	20	1,583.00m <sup>2</sup>
【国立病院機構キャン パス】 12,098m <sup>2</sup>	5,000m <sup>2</sup>	15,578m <sup>2</sup>	4,132m <sup>2</sup>	17	2,526.00m <sup>2</sup>
【合 計】 30,843m <sup>2</sup>	16,200m <sup>2</sup>	29,381m <sup>2</sup>	14,532m <sup>2</sup>	52	5,136.00m <sup>2</sup>

- [注] 1 校舎面積に算入できる施設としては、講義室、演習室、学生自習室、実験・実習室、研究室、図書館（書庫、閲覧室、事務室）、管理関係施設（学長室、応接室、事務室（含記録庫）、会議室、受付、守衛室、宿直室、倉庫）、学生集会所、食堂、廊下、トイレなどが挙げられます。
- 2 講堂を講義室に準じて使用している場合は「講義室・演習室・学生自習室」に含めても結構です。
- 3 複数のキャンパスを設置している場合は、キャンパスごとに作表してください。

(表23) 教員研究室

学 部 研究科	室 数			総面積 (㎡)	1室当たりの平均面積 (㎡)		専任教員数 (B)	個室率(% (A/B*100))	教員1人当た りの平均面積 (㎡)	備 考
	個室(A)	共 同	計		個 室	共 同				
医療保健学部 (含む助産学専攻科)	39	11	50	1,190	19.6	38.8	84	46.4	14.2	42名 (内助手15名)
東が丘・立川看護学部 (含む看護学研究科)	38	9	47	933	19.2	22.7	53	71.7	17.6	18名 (内助手11名)
医療保健学研究科	9	1	10	192	17.5	33.6	16	56.3	12.0	5名 (教授)
計	86	21	107	2,315	17.3	30.1	153	56.2	15.1	

- [注] 1 「室数」「総面積」欄には、学部、大学院研究科等の保有する全ての教員研究室について記入してください。
- 2 「1室当たりの平均面積」は全ての教員研究室について、「教員1人当たりの平均面積」は学部、大学院研究科等の専任教員が実際に使用している教員研究室について算出してください。
- 3 「個室率」の算出にあたっては、個室数が専任教員数を上回る場合は、原則として 100%と記入してください。
- 4 個室を持たない教員については、「備考」欄にその数を記入してください。

(表24) 主要施設の概況

施設名	用途	建築年	延床面積(m <sup>2</sup> )	備考
五反田校舎 本館	講義室、実習室、ゼミ室、図書館	昭和54(1979)年	5,008	
世田谷校舎 本館	講義室、演習室、図書館、研究室等	昭和58(1983)年	2,283	
世田谷校舎 別館	講義室、実習室、実験室、研究室等	昭和41(1966)年	3,913	
世田谷校舎 新学生ホール	講義室等	平成3年(1991)年	601	
国立病院機構校舎 本館	講義室、実習室、図書館等	平成10年(1998)年	4,951	
国立病院機構校舎 研究棟	研究室、演習室等	平成10年(1998)年	5,288	
国立病院機構校舎 第一別館	講義室等	昭和48(1973)年	1,487	
国立病院機構校舎 第二別館	講義室、研究室等	昭和52(1977)年	1,456	
国立病院機構校舎 演習実習棟	実験室、実習室等	昭和49(1974)年	2,948	

- [注] 1 「財産目録」記載のうち、教育研究活動に使用されている主要な建物について記載してください。  
 2 上記、施設の大規模な改築や改修計画がある場合は、備考欄にその旨記入してください。

(表25) 学部・研究科ごとの講義室、演習室等の面積・規模

学部・研究科等	講義室・演習室 学生自習室等	室数	総面積(m <sup>2</sup> ) (A)	専用・共用 の別	収容人員 (総数)	利用学生 総数 (B)	利用学生1人当 たり面積(m <sup>2</sup> ) (A/B)	備考
医療保健学部	講義室	7	743.3	専用	638	449	1.66	五反田キャンパス
		14	1405.2	専用	1,094	760	1.85	世田谷キャンパス
	演習室	8	316.0	専用	234	449	0.70	五反田キャンパス
		5	149.9	専用	52	760	0.20	世田谷キャンパス
学立東 部川が 看護・ 看丘護・	講義室	11	1350.8	専用	870	565	2.39	国立病院機構キャンパス
	演習室	6	246.0	専用	124	565	0.44	国立病院機構キャンパス
学医 研究 保健 科健	講義室	1	99.4	専用	63	53	1.88	五反田キャンパス
	自習室	16	340.8	専用	131	53	6.43	五反田キャンパス
研看 究護 科学	講義室	4	219.3	専用	90	67	3.27	国立病院機構キャンパス
	自習室	30	500.5	専用	94	67	7.47	国立病院機構キャンパス
共全 通学	体 育 館	1	659.8	共用				五反田キャンパス
		1	1000.1	共用				世田谷キャンパス
		1	551.5	共用				国立病院機構キャンパス

[注] 1 学部、大学院研究科ごとに記載してください。

2 当該施設を複数学部、研究科、短期大学等が共用している場合には、当該学部・大学院研究科専用の施設とは別個に記載し、「専用・共用の別」欄にその旨を明記するとともに、「利用学生総数」欄にも共用する学部、研究科、短期大学等の学生を含めた数値を記入してください。

3 キャンパスごとに施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄にキャンパス名を記入してください。

4 全学で全ての施設を共用している場合は、「学部・研究科等」欄に「全学共通」と記入してください。

5 教養教育のための専用施設がある場合は、学部に準じて記載してください。

6 「利用学生1人当たり面積」は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記入してください。

7 他学部、研究科等と共用で使用している講義室・演習室等の「利用学生1人当たりの面積」の算出に当たっては、当該施設を利用しているすべての学部、研究科の学生数（短期大学と共用している場合は、短期大学の学生数を含む）で総面積を除いて算出してください。

(表26) 学部・研究科ごとの学生用実験・実習室の面積・規模

用途別室名	室数	総面積 (㎡)	収容人員 (総数)	収容人員1人当 りの面積(㎡)	使用学部・研究科等	備考
看護実習室Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	3	738.8	250	2.96	医療保健学部	
食品加工実習室	1	121.5	40	3.04	医療保健学部	
栄養教育実習室	1	94.5	40	2.36	医療保健学部	
臨床栄養実習室	1	121.5	40	3.04	医療保健学部	
調理実習室	1	162.0	40	4.05	医療保健学部	
給食経営管理実習室	1	125.5	40	3.14	医療保健学部	
生理学実験室	1	94.5	40	2.36	医療保健学部	
理化学実験室	1	121.5	40	3.04	医療保健学部	
情報実験室	1	112.0	40	2.80	医療保健学部	
基礎・在宅看護実習室	1	324.9	120	2.71	東が丘看護学部	
成人・老年・母性・小児 看護実習室	1	173.9	120	1.45	東が丘看護学部	
NP演習室	1	105.1	20	5.26	看護学研究科	
計	14	2295.7	830	2.77		

[注] 1 原則として学部・研究科ごとにまとめてください。

2 「用途別室名」欄には、その施設の用途が具体的にわかるような名称を記入してください。

3 当該施設を複数の学部・研究科もしくは併設の短期大学と共用している場合は、その学部名等のすべてを「使用学部・研究科等」欄に記載し、本表において同一施設を重複して記載しないでください。

4 語学学習施設・情報処理学習施設、ビデオ・オーディオルームその他の視聴覚教室施設等も、ここに記入してください。

5 教養教育のための施設については「使用学部・研究科等」欄にその旨記入してください。

6 実習室としての機能を備えているものの、講義室・演習室等としての利用が中心である施設については、前表「26 学部・研究科等ごとの講義室・演習室等の面積・規模」の講義室・演習室に含めても構いません。その場合は、当該施設の本表での記載に当たっては、「備考」欄に必ず「【再掲】」と記入してください。

(表27) 学部・研究科ごとの規模別講義室・演習室使用状況一覧表

学 部 名	セメスター	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
医療保健学部 看護学科	前期 後期	1 ~ 50	9	162	68	42.0	
		51 ~ 100	4		105	64.8	
		101 ~ 150	3		62	38.3	
		151 ~ 200	0		0	0.0	
		201 ~ 250	0		0	0.0	
計			16	162	235	145.1	

学 部 名	セメスター	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
医療保健学部 医療栄養学科	前期 後期	1 ~ 50	11	214	74	34.6	
		51 ~ 100	10		84	39.3	
		101 ~ 150	2		19	8.9	
		151 ~ 200	1		13	6.1	
		201 ~ 250	1		19	8.9	
計			25	214	209	97.7	

学 部 名	セメスター	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
医療保健学部 医療情報学科	前期 後期	1 ~ 50	9	181	26	14.4	
		51 ~ 100	9		79	43.6	
		101 ~ 150	2		57	31.5	
		151 ~ 200	1		30	16.6	
		201 ~ 250	1		29	16.0	
計			22	181	221	122.1	



学 部 名	セメスター	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
東が丘・立川 看護学部 看護学科	前期 後期	1 ~ 50	5	103	12	11.7	
		51 ~ 100	2		10	9.7	
		101 ~ 150	4		81	78.6	
		151 ~ 200				0.0	
		201 ~ 250				0.0	
計			11	103	103	100.0	

学 部 名	セメスター	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
医療保健学研究科 医療保健学専攻	前期 後期	1 ~ 50	2	46	21	45.7	
		51 ~ 100	5		23	50.0	
		101 ~ 150	2		2	4.3	
		151 ~ 200				0.0	
		201 ~ 250				0.0	
計			9	46	46	100.0	

学 部 名	セメスター	収 容 人 員	使用教室数	開設総 授業数 (A)	使用度数 (B)	使用率 B/A (%)	備 考
看護学研究科 看護学専攻	前期 後期	1 ~ 50	6	43	43	100.0	
		51 ~ 100					
		101 ~ 150					
		151 ~ 200					
		201 ~ 250					
計			6	43	43	100.0	

[注] 1 原則として学部・研究科ごとに作成してください。

2 使用教室数は、当該学部の正規の授業として使用している教室数を指し、開設総授業数とは、1週間の総授業科目のうち、講義室・演習室を使用する全ての授業数を示します。なお、使用率は、(使用度数/開設総授業数)により算出してください。例えば、「英語 I」を、それぞれ週1回3クラス設置している場合、開設総授業数は「3」になります。

3 セメスター制を採用している場合で、使用状況が大きく異なる場合については、セメスターごとに作表してください。

(表28) 図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況

図書館の名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物の種類 (種類)		視聴覚資料 の所蔵数 (点数)	電子ジャー ナルの種類 (種類)	過去3年間の図書受け入れ状況			備 考
	図書の冊数	開架図書の 冊数(内数)	内国書	外国書			2011年度	2012年度	2013年度	
附属世田谷図書館	45,620	35,164	281	120	1,314	1,614	1,489	1,735	1,767	
附属五反田図書館	20,059	16,638	221	76	1,254	0	1,708	1,398	1,308	附属五反田図書館は附属世田谷 図書館・附属東が丘図書館契約 分の電子ジャーナルを利用。
附属東が丘図書館	2,829	2,828	89	20	96	2,228	744	203	479	
計	68,508	54,630	591	216	2,664	3,842	3,941	3,336	3,554	

[注] 1 雑誌等ですでに製本済みのものは図書の冊数に加えても結構です。

2 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、スライド、映画フィルム、CD-ROM等を含めてください。

3 電子ジャーナルが中央図書館で集中管理されている場合は、中央図書館にのみ数値を記入し、備考欄にその旨を注記してください。

4 視聴覚資料の所蔵数については、タイトル数を記載してください。

(表29) 図書館利用状況

図書館の名称	専任 スタッフ 数	非常勤 スタッフ 数	年間 開館 日数	開館時間	年間利用者数(延べ数)			年間貸出冊数			備 考
					2011年度	2012年度	2013年度	2011年度	2012年度	2013年度	
附属世田谷 図書館	1 (1)	2 (2)	270	月～金 9:00～20:00	44,542人	46,822人	46,940人	4,322冊	4,805冊	5,460冊	
				土 9:00～17:00	( )	( )	( )	( 教員 316 職員 126 学生 3,880 )	( 教員 625 職員 178 学生 4,002 )	( 教員 525 職員 305 学生 4,630 )	
				日祭日 :～:	( )	( )	( )				
				長期休暇中 9:00～17:00	( )	( )	( )				
附属五反田 図書館	1 (1)	3 (3)	271	月～金 9:00～20:00	37,032人	31,716人	30,657人	12,984冊	12,092冊	11,032冊	長期休暇中の開館 時間は9月第2週 9:00～18:00第3週 以降9:00～20: 00
				土 9:00～17:00	( )	( )	( )	( 教員 1,284 職員 96 学生11,604 )	( 教員 1,531 職員 100 学生1,0461 )	( 教員 1,267 職員 164 学生 9,601 )	
				日祭日 :～:	( )	( )	( )				
				長期休暇中 9:00～17:00	( )	( )	( )				
附属東が丘 図書館	1 (1)	2 (1)	268	月～火、木～金 9:00～20:00	—	37,269人	37,075人	2,436冊	4,786冊	5,212冊	2011年度の年間利 用者数は、入館シ ステム未設置のた め不明。
				水、土 9:00～17:00	( )	( )	( )	( 教員 428 職員 109 学生 1,899 )	( 教員 549 職員 68 学生 4,169 )	( 教員 358 職員 57 学生 4,797 )	
				日祭日 :～:	( )	( )	( )				
				長期休暇中 9:00～17:00	( )	( )	( )				

[注] 1 スタッフ数は、専任、非常勤ごとに、司書の資格を有するものを( )内に内数で記入してください。

2 年間利用者数・貸出冊数には、一般開放による地域住民等の人数や冊数は含めないで、学生及び教職員の利用状況を記入してください。

3 「開館時間」に上記以外の時間帯がある場合は、作表してください。

4 「年間利用者数(延べ数)」および「年間貸出冊数」について、教員・職員・学生の別に内訳を把握している場合は、( )内に記入してください。

(表30) 学生閲覧室等

図書館の名称	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対する 座席数の割合(%) $A/B * 100$	その他の学習室の 座席数 ( )	備 考
附属世田谷図書館	84	720	11.7	( 0 )	学部 720
附属五反田図書館	72	477	15.1	( 0 )	学部 400 助産学専攻科 15 大学院 62
附属東が丘図書館	37	562	6.6	( 48 ) 学習室	東が丘・立川看護学部 500 大学院看護学研究科 62
計	193	1,759	11.0	( 48 )	

- [注] 1 「学生収容定員」には、学部学生、大学院学生、専攻科、別科の学生収容定員のほか、当該施設を短期大学と共用している場合には、短大の学生収容定員もこの数に加えてください。
- 2 「その他の学習室」の具体的名称を「その他の学習室の座席数」欄のカッコ内に記入。一般開放による地域住民等は含めないでください。
- 3 「備考」欄には学生収容定員（B）の内訳を、学部、大学院、専攻科、別科、短期大学ごとに記入してください。